

A 4 鶏の血清、肝臓および卵コレステロールに及ぼす中鎖トリグリセリド投与の影響  
十文字短大 濱口恵子 江森純子 笹子謙治 林 寛  
埼玉養鶏試 山上善久

目的 中鎖トリグリセリド(MCT)をシロネズミに与えると血清コレステロール(Ch)を著しく低下させ、この作用はトリオクタノインが特に著しいことを報告したが、今回はMCT(C<sub>8</sub>酸:C<sub>10</sub>酸:C<sub>12</sub>酸=86.2:13.6:0.2)を成鶏に与え、鶏卵脂質一特に卵黄Ch量に影響を与えるか否かを検討したので報告する。

方法 ハイセックス・ホワイト種雌鶏30羽を厳選し、予備飼育後3群(1群10羽、223日齢)に分け、I群は大豆油10%、II群は大豆油5%-MCT5%、III群はMCT10%を基礎飼料(タンパク質17.40%、脂質3.01%、エネルギー3,243kcal/kg)に添加し55日間飼育した。経時的に飼料摂取量、体重、全卵・卵黄・卵白重量を、試験終了日に肝臓と腹腔内脂肪重量を測定した。血清と肝臓の脂質の測定は前報<sup>\*)</sup>と同様におこなった。

結果 体重はI群では35日目まで変化がなくその後増加がみられ、II群とIII群では35日目までは減少するがその後回復しI群に近い値となる。卵重量は各群とも飼育日数に準じて増加する傾向がみられ、卵黄重量比はII群で高い値を示した。卵黄Chは個体差が大きいが、各群とも6日目までは変化がなく10~14日目に増加がみられ、その後の増減率は小さい。III群の鶏の肝臓重量比は高い値を示すが、腹腔内脂肪重量比は低い値を示した(I群はIII群の約1.5倍)。血清総Chと遊離型ChはI群が有意に低い値を示すが、II群とIII群間には差がない。肝臓総ChはIII群が高い値となるが、遊離型Chは逆にIII群が最も低い値を示し、以下II群、I群の順となり、各群間に有意差が認められた。

\*第36回本総会研究発表要旨集p.104(1974)